

平成28年度 第3回 池田市総合教育会議 議事録

日 時：平成28年12月19日（月）午後3時30分～午後4時30分

会 場：池田市役所 3階 議会会議室

出席者：倉田市長、田渕教育長、山岸委員、河野委員、藤田委員、小林委員
＜事務局＞

14人

傍聴者：3人

1. 開会の挨拶

2. 議事

（1）平成28年の振り返りと新年度の施策について

○事務局（学校教育推進課、教育センター）より平成28年度の事業の進捗について説明。

【小・中学校指導者派遣事業】

北豊島小学校の低学年の指導支援、呉服小学校の音楽教育、五月丘小学校の水泳教室、細郷小学校の放課後イングリッシュ、北豊島中学校の大学生による学習支援など、子どもたちや保護者の方から大変ありがたいという意見をいただいている。

【地域学習教室事業】

家庭教師のトライ大阪校に業務委託し、数学と英語の指導を行っている。市内中学生の11.4%にあたる287名を受け入れている。生徒の保護者から、学校外に学習の場を設けることについて好意的な意見をいただいている。

【幼稚園通級指導教室】

週1回、担当者が幼稚園を巡回し、全幼児を観察して教員・保護者にアドバイスをし、必要に応じて個別指導を行っている。9月からコミュニケーションに課題のある子どもに対しグループ指導を行っている。保護者からも好評をいただいている。幼稚園の先生からは、子どもたちが自分から話しかけるようになった、他の子どもも理解を示すようになった、保護者と子どもが仲良くなった、小学校に上がる際に指導した情報を共有できるという点で評価できる。

○事務局（教育部長）より平成29年度の新規事業について説明。

35人学級編成を4年生まで拡充、電子黒板を未導入の小中学校に設置、地域学習教室の拡充など。

＜市 長＞

・予算査定がこれからなので、まだ決定ではない。35人学級については、このままでは来年に5年生、次の年に6年生に拡充と、工夫がないように思うので、たとえば習熟度別クラスなどもう少しひねってほしい。10歳の壁が高いなら、その説明を査定で聞かせてほしい。それでは平成28年の振り返りと新年度の施策について、各先生方の意見をお願いします。

<委 員>

- ・少子高齢化の中で、国の力は子どもによると考えている。家庭の事情によって学習の機会がないことは、個人にとっても国にとっても大きな損失である。はばたき塾や学園食堂の取組は素晴らしい。どんどん広めてほしい。小・中学校指導者派遣事業は画一的でないところがよかった。

<委 員>

- ・今年度予算の5000万円からさらに5000万円がプラスされていて、市長が教育に力を入れているのが分かる。平成28年度の事業では、全体の底上げに力を入れていた。平成29年度の事業も、35人学級やスカイプによる英語会話能力向上など、全体のレベルアップに力を入れている。非常勤講師の活用もよい。

<委 員>

- ・平成28年度の事業は、はばたき塾が人気で、来年も期待している。
- ・1つ気になるのは、ほそごう学園。スカイプによる英会話、はばたき塾 Jr などの事業が挙げられているが、もっと目玉があってもいいのでは。せっかく特認校にしても、応募が1人、2人では寂しい。

<委 員>

- ・はばたき塾のことを堺市の友人に言われ、他市にも池田市の取組が知られていると思った。大阪の中でも北摂の教育レベルは高いと思われる。予算配分で見ると教育の割合は1割前後のところが多く、市によっては6%のところもある。池田市は非常に予算の配分をしていただいている。しかし家計で見ると教育費は25%を占めているので、市でもさらに配分してほしい。ただ、池田市の高齢化率は28%と高いのでそちらへの予算もあると思うが、教育は未来投資である。未来への投資にさらなる予算をつけてほしい。
- ・また、子どもが小さい頃に予算を使うことが大事。子どもが小さいときは、親も対応の仕方が分からない。福祉と連携して、3、4歳から幼・小・中へつなぐサポートが次の一手になると思う。

<市 長>

- ・学園食堂については、農協でお米を50kg頂戴し、冬休みはそれで足りると喜んでいただいている。北豊島の食堂では熊本から野菜の寄付をいただいております、広がりを見せている。
- ・ほそごう学園の特認校制度は、どう特色を持たせるか教育委員会で策を練っていただければありがたい。
- ・未来への投資について、財源をどう取ってくるかだが、現在の財源は公共施設管理公社の見直しにより浮かせたもの。子ども・子育て日本一を謳っているので、来年度は0～2歳児の就学前のサポートについても子ども・健康部で対応していきたい。

- ・教育長から総括をお願いする。

<教育長>

- ・平成28年度の3つの新規事業は効果があると学校から報告を受けている。低学年の先生は、退職した校長先生がサポートしている。来年度は、低学年の生徒の支援を見直したいと思っている。就学前と義務教育のつなぎに改めて取り組みたい。低学年の支援についてはICT導入や英語の推進など、委員の方と話し合いながら新たに取り組んでいく。

(2) その他

○さつきやま森の学び舎園長・木村太郎氏より講話。

- ・独自の教育方針に基づき、西本町でオルタナティブ教育を行っている。
- ・小学部には6名の子どもがおり、幼稚舎には総勢50から60名がいる。
- ・フリースクールを設立したのは、自分の子どもの幼稚園を探す際に、自分たちの教育方針と合う幼稚園が見つからなかったのがきっかけ。

<市長>

- ・先生方から、ご意見、ご質問をお願いする。

<委員>

- ・このような教育について、選択肢の1つとしてあってもよいと思った。学力のレベルは、公立の子どもと比べて差があるかどうか、もし分かれば教えてほしい。

<委員>

- ・自分が子どもの頃は教育に関する選択肢はなく、自分の子どもの学校を選ぶときも教育方針を確認したことはなかった。学校至上主義ではないが、学校では友達関係など学ぶことが多く、嫌いでもしなければいけないことがあると学んだ。子どもを社会に返すことが教育の役目、親の責務だと考えている。木村さんの教育方針について教えてほしい。

<委員>

- ・画一的でない部分が社会では必要になる。しかしたとえばロボットが好きで技術者になりたいと思ったら、どこかで画一的なルートに入らざるを得ない。そのようなケースの指導はどうするのか。

<委員>

- ・義務教育は、親が子どもに教育を受けさせる義務があり、子どもは教育を受ける権利があるということ。実質的には親が教育を選ぶ。義務教育を終えてから子どもたちが選ぶのもよいのではないか。フリースクールでの学習は土日を活用してやるのもありだと思う。

<委 員>

- ・やるなら早い方がいいが、ほそごう学園の特色を学習とスポーツのどちらに特化するか、特色を出すのが先か特認校が先かなど、併せて議論する必要がある。
- ・コミュニティ・スクールは、メンバーや運営方法の議論が必要。
- ・やると決まった後、広報をきちんとしてほしい。

<教育長>

- ・「学校以外の場において行う多様で適切な学習活動の重要性に鑑み」と法にある。池田市では、フリースクールを運営するスマイルファクトリーと連携してきた経緯がある。学校教育と連携することがポイント。連携することによって既存の教育の見直しにもつながるだろう。既存の学校とどのような連携を心がけ、実際に連携しているか教えてほしい。

<市 長>

- ・私からの質問は、思い出深い恩師がいらっしゃるか。

<木村氏>

- ・理想の教育方針は、「自分と自分の周りを幸せにできる大人になってほしい」ということである。見学に来た保護者からは、「森の学び舎は小さな社会だ」と言われる。毎朝何をするかについて、子どもたち同士で話し合ったり決裂したりする。
- ・画一的なルートに入っていけるかであるが、東京の公立学校へ転校した子がおり、心配したが楽しく通っている。
- ・教育を子どもが選ぶということについて、オランダでは、5歳のときに学校を見学して子ども自身が決める。公立とオルタナティブ教育が一緒になるなど多様な教育があり、学校をつくる自由がある。失敗すれば学校を変えればいいという考え。オランダの子どもにできることが日本人にできないはずがない。森の学び舎にずっといる必要はなく、学びたいことを、学びたいときに学んでもらう。
- ・学力レベルはまちまちである。好きな子どもはよく伸び、小1で小4の算数を解いている。興味に移り変わる中で必要なことを学んでほしい。義務教育の教科書を学校からもらっているので家庭で読んでいる。
- ・あるお母さんが「子どもに『好きなことをしなさい』と初めて本気で言えた」といってくれた。なぜそのようなことを言ったかという、私自身が嫌いなことはできないから。経理が嫌いなので、税理士にまかせている。嫌いなことは、それを好きな人を探せばいい。
- ・学校との連携について、校長先生から声をかけてもらい運動会やお祭りなどに参加している。緩やかに見守っていく。
- ・恩師については、学校ではないがアフタースクールの先生が思い出深い。「好きなことをしろ、人に迷惑をかけるな」といつも言っていた。

<市 長>

- ・いろいろなメニューがあることを知ってほしくて木村氏をお呼びした。1つ気になるのは、貧しい方はオルタナティブ教育を受けられないということ。親の経済状態が子どもの教育の機会均等をつぶすのは違うと思う。ほそごう学園が特認校になるなら、石橋南小の空き教室で木村さんにオルタナティブ教育をしてもらってもいいと私は考えているが、それは次の機会にしたいと思う。

3. 閉会